

申3号 中編成ワンマン運転の実施に関する申し入れ①

1項 教育訓練の具体的内容とスケジュールを明らかにすること。

- 組合：机上教育や現車訓練におけるスケジュールや項目はどのようにしていくのか。
 会社：11月の定例訓練会で行い周知する。EVの運転は慣れているのでモニターの視認性の確認が主になる。
 組合：補完教育でDC免許を取得せず乗務可能とするとしているが、どのように行うのか。
 会社：秋田支社ではまだ行っていないが今後教育していく。補完教育の期間は今後明らかにしていく。内燃機関を備えているので机上教育も必要になる。
 組合：ホームモニター以外に新しい設備は設置するのか。
 会社：車内防犯カメラを前後2台設置する。常時ではなく防犯上必要な時のみ見るようにする。教育も行う。
 組合：11月から訓練を行うとしているが冬期間のハンドル訓練は行うのか。
 会社：12月上旬から2月中旬までを予定している。期間には余裕をもって行う。不安の無いよう必ず1回は訓練してから乗務してもらう。
 組合：中編成で行うのか。
 会社：4両編成で行う。
 組合：駅の連結・開放訓練は行うのか。
 会社：未定だがEVについての訓練は考えている。幌などは701系に近いものになると思う。
 組合：停止位置目標は2両と4両で変わるのか。
 会社：編成で運転している停目に合わせてもらう。4両ワンマン停目は設置しない。
 組合：秋田駅発車場面で運転士がホームを確認しやすいようにする考えはあるか。
 会社：基本的に運転士側にホームが来るよう検討している。
 組合：追分駅も同じ考えか。
 会社：できない場合もあるが基本的には運転士側にホームが来るようにしたい。
 組合：今後社員の疑問や意見を集める機会はあるのか。
 会社：PTメンバーや指導担当に意見を出してもらいたい。

2項 パンタグラフ取扱い失念防止に向け、運転士の注意力だけでなく追分駅着前にボイス等で知らせる設備を搭載すること。

- 組合：これまでパンタグラフ下げ忘れが発生していることに対して、会社としてどのような問題意識を持っているのか。
 会社：これまで2件発生していて、いずれもお客さま対応による「割り込み型エラー」と認識している。パンタグラフを上げた状態で運転できないように安全装置も備えている。
 組合：それでも事象は発生している。ボイスを流すなど視聴覚で注意喚起できるよう車両改修はできないか。
 会社：車両改修はできるが、お客さまの死傷につながるものではない。今後お客さま対応が無く「割り込みエラー」は減るのではないかと考えている。乗務員の意識で防げるものと考えている。
 組合：看板なども設置できないのか。
 会社：設置しても慣れにより風化していく。乗務員の意識を向上させていくことが必要。現場から対策として効果があり必要と声があれば対応も考える。
 組合：アンケートでも不安の声が上がっているのを参考にしてもらいたい。
 会社：PTを活用して対策を練っていくことも一つの方法としてある。

②に続く